

第 76 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 5 年 8 月調査)

～ 景況感は引き続き足踏み状態 ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲6.4（前回調査比 7.2 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化となり、2 期ぶりにマイナスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」の 3 項目で悪化となった。「人員・人手」はプラス幅が若干拡大した。経済正常化の進行に伴い、一部では景況マインドの回復がみられ、堅調に推移している状況がうかがえる。しかし、原材料費やエネルギー価格の高騰等による企業の負担感は依然強く、総じてみれば足踏み状態が続いている。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲23.5（前回調査比 4.9 ポイント下落）、製造業が▲8.7（前回調査比 12.0 ポイント下落）、卸・小売業が▲1.1（前回調査比 1.9 ポイント上昇）、サービス業が 8.4（前回調査比 11.8 ポイント下落）と、卸・小売業で小幅ながら改善となった一方、建設業、製造業、サービス業は悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲10.3（前回調査比 6.4 ポイント下落）、村山北部が▲10.9（前回調査比 17.2 ポイント下落）、最上が▲4.9（前回調査比 0.3 ポイント上昇）、置賜が▲14.3（前回調査比 12.5 ポイント下落）、庄内田川が▲4.0（前回調査比 6.5 ポイント下落）、庄内飽海が 4.6（前回調査比 2.3 ポイント下落）と、最上はほぼ横ばいの推移、その他の 5 地域で悪化となり、村山北部と庄内田川でマイナスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲6.4（今回調査比±0.0 ポイント）と横ばいで推移する見込みとなっている。

【特別調査】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、全業種でみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は 40.5%と、前年度に比べ 2.6 ポイントの上昇となった。一方、「実施しない」は 41.8%と 3.3 ポイントの低下となった。

令和 5 年 9 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最 上	10
④	置 賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	設備投資動向について	15
(1)	設備投資動向	15
(2)	設備投資金額	18
(3)	設備投資目的	19
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		21
<参考資料 II : 調査の概要>		21

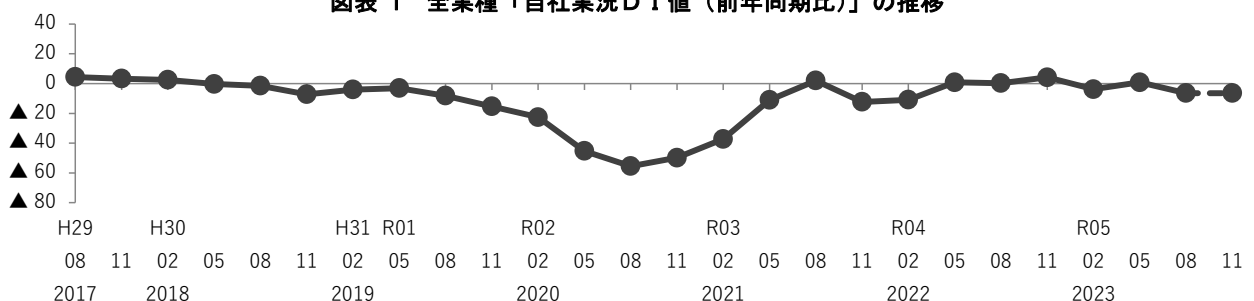
I. 県内企業の業況

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲6.4（前回調査比7.2ポイント下落）と2期ぶりに悪化となり、2期ぶりにマイナスに転じた。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」の3項目で悪化となった。「人員・人手」はプラス幅が若干拡大した。経済正常化が進む中、一部では景況マインドの回復がみられ、堅調に推移している状況がうかがえる。しかし、原材料費やエネルギー価格の高騰等による企業の負担感は依然強く、総じてみれば足踏み状態が続いている。

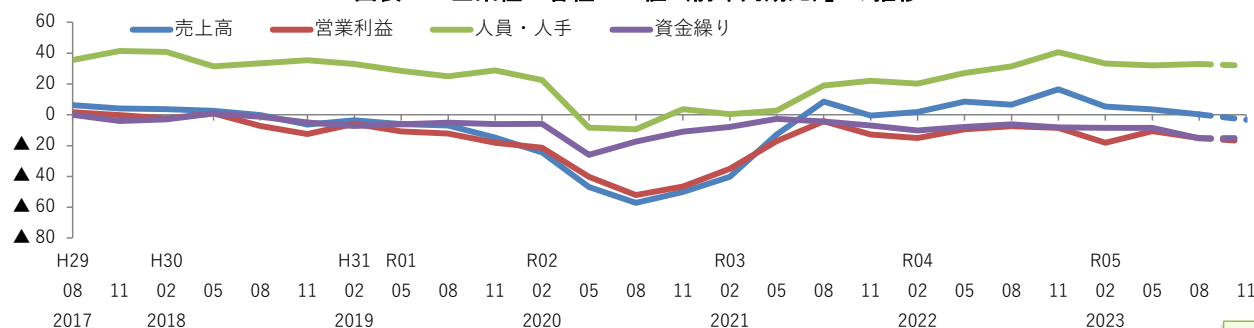
先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲6.4（今回調査比±0.0ポイント）と横ばいで推移する見込みとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 04. 08 (n=390)	0.3	(▲ 0.5)	▲ 10.6	6.6	▲ 7.4	31.5	▲ 6.1
R 04. 11 (n=379)	4.2	(3.9)	▲ 14.1	16.6	▲ 8.5	40.7	▲ 8.2
R 05. 02 (n=391)	▲ 3.8	(▲ 8.0)	▲ 14.0	5.3	▲ 18.2	33.3	▲ 8.4
R 05. 05 (n=396)	0.8	(4.6)	▲ 19.2	3.5	▲ 10.6	32.1	▲ 8.5
R 05. 08 (n=373)	▲ 6.4	(▲ 7.2)	▲ 7.1	0.3	▲ 15.0	33.0	▲ 15.3
前回調査比	-	-	-	(▲ 3.2)	(▲ 4.4)	(0.9)	(▲ 6.8)
先行き見通し	▲ 6.4	-	-	▲ 3.2	▲ 17.2	31.9	▲ 15.0
今回調査比	(0.0)	-	-	(▲ 3.5)	(▲ 2.2)	(▲ 1.1)	(0.3)

※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

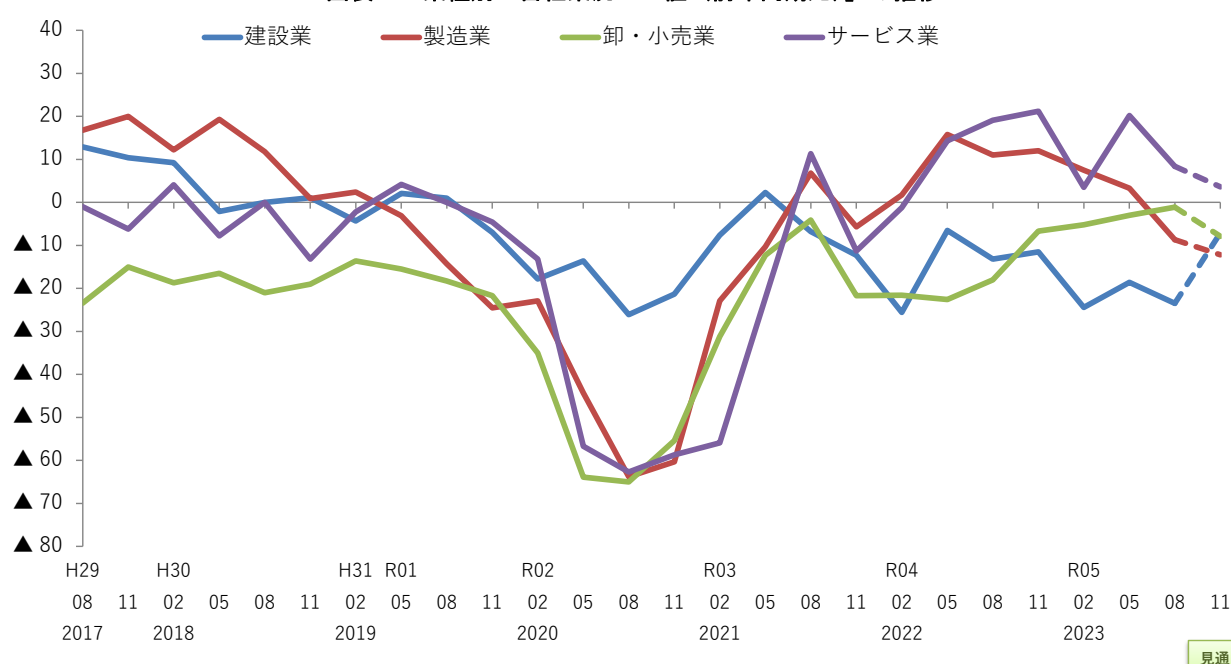
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲23.5（前回調査比 4.9 ポイント下落）、製造業が▲8.7（前回調査比 12.0 ポイント下落）、卸・小売業が▲1.1（前回調査比 1.9 ポイント上昇）、サービス業が 8.4（前回調査比 11.8 ポイント下落）と、卸・小売業で小幅ながら改善となった一方、建設業、製造業、サービス業は悪化となった。

業況の先行き見通しは、建設業で大幅に改善、その他の 3 業種で悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 08 (n=390)	0.3	▲ 13.2	11.0	▲ 18.0	19.1
R 04. 11 (n=379)	4.2	▲ 11.5	12.0	▲ 6.7	21.2
R 05. 02 (n=391)	▲ 3.8	▲ 24.4	7.5	▲ 5.2	3.5
R 05. 05 (n=396)	0.8	▲ 18.6	3.3	▲ 3.0	20.2
R 05. 08 (n=373)	▲ 6.4	▲ 23.5	▲ 8.7	▲ 1.1	8.4
前回調査比	(▲ 7.2)	(▲ 4.9)	(▲ 12.0)	(1.9)	(▲ 11.8)
先行き見通し	▲ 6.4	▲ 7.1	▲ 12.2	▲ 7.9	3.6
今回調査比	(0.0)	(16.4)	(▲ 3.5)	(▲ 6.8)	(▲ 4.8)

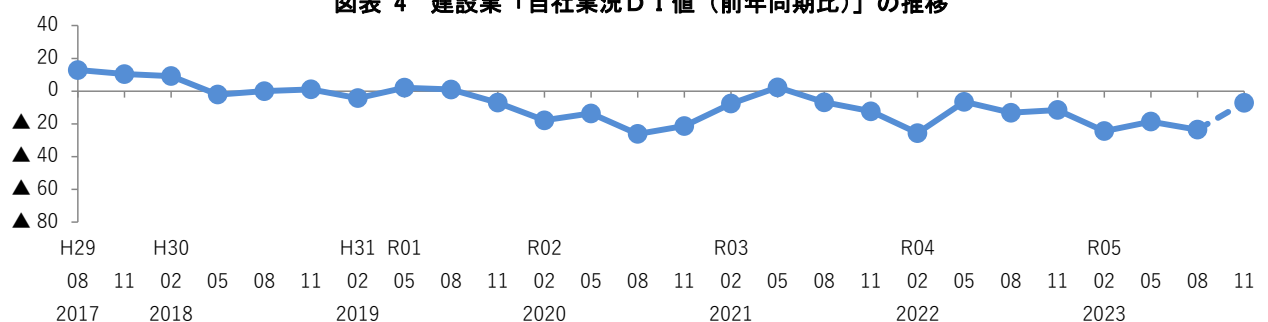
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲23.5（前回調査比 4.9 ポイント下落）と、前期の好転から再び悪化する動きとなっている。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」はほぼ横ばいに推移し、「完成工事高」「手持工事高」「資金繰り」は悪化となった。「人員・人手」はプラス幅が大幅に拡大した。各社のコメントからは、引き続き外注費や資材価格高騰の影響が色濃くみられ、利益の確保に苦慮している状況がうかがえる。また、今後の見通しとして、設備投資の減少を懸念する内容が複数寄せられた。

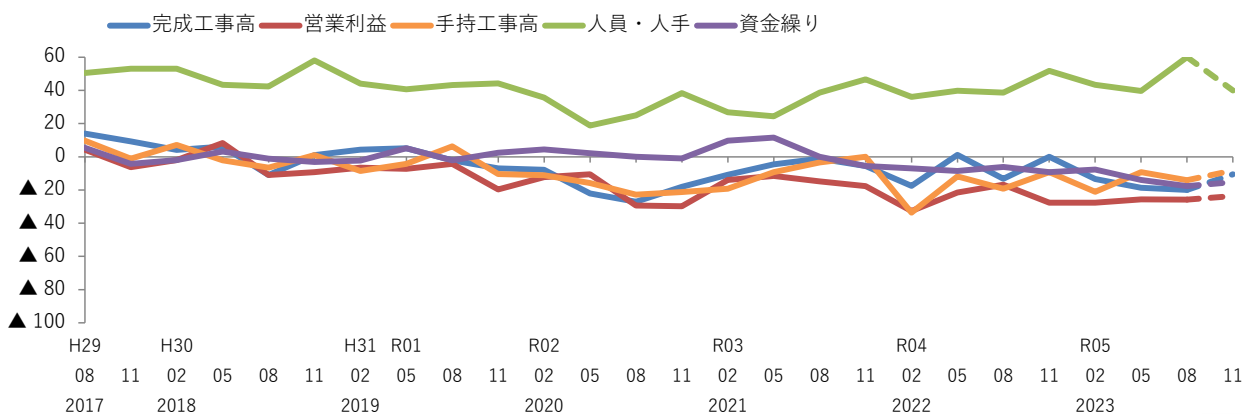
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲7.1（今回調査比 16.4 ポイント上昇）と大幅に改善が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

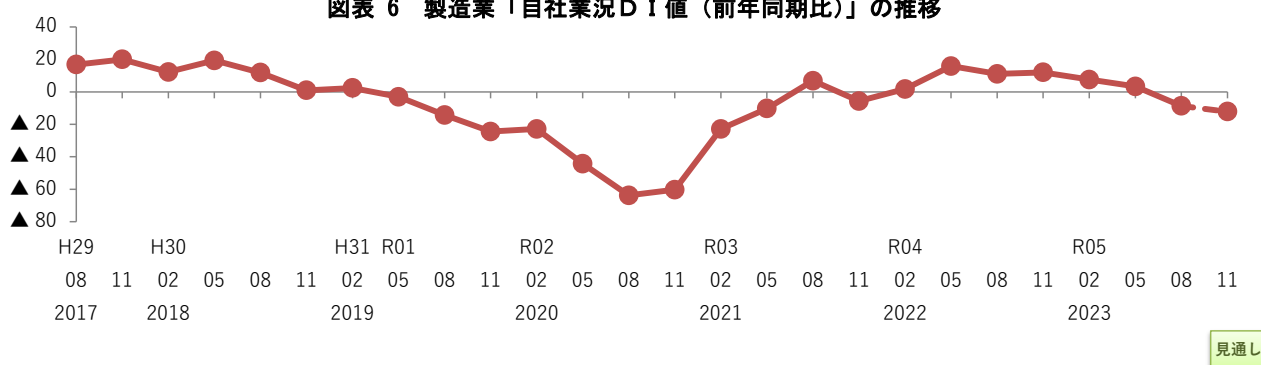
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 04. 08 (n=83)	▲ 13. 2	(▲ 6. 7)	▲ 26. 8	▲ 13. 2	▲ 16. 8	▲ 19. 2	38. 6	▲ 6. 1
R 04. 11 (n=87)	▲ 11. 5	(1. 7)	▲ 22. 9	0. 0	▲ 27. 6	▲ 9. 2	51. 7	▲ 9. 2
R 05. 02 (n=90)	▲ 24. 4	(▲ 12. 9)	▲ 27. 6	▲ 13. 4	▲ 27. 7	▲ 21. 1	43. 3	▲ 7. 7
R 05. 05 (n=86)	▲ 18. 6	(5. 8)	▲ 36. 6	▲ 18. 6	▲ 25. 6	▲ 9. 3	39. 6	▲ 13. 9
R 05. 08 (n=85)	▲ 23. 5	(▲ 4. 9)	▲ 26. 7	▲ 20. 0	▲ 25. 8	▲ 14. 1	60. 0	▲ 17. 6
前回調査比	-	-	-	(▲ 1. 4)	(▲ 0. 2)	(▲ 4. 8)	(20. 4)	(▲ 3. 7)
先行き見通し	▲ 7. 1	-	-	▲ 10. 6	▲ 23. 6	▲ 8. 2	40. 0	▲ 15. 2
今回調査比	(16. 4)	-	-	(9. 4)	(2. 2)	(5. 9)	(▲ 20. 0)	(2. 4)

② 製造業

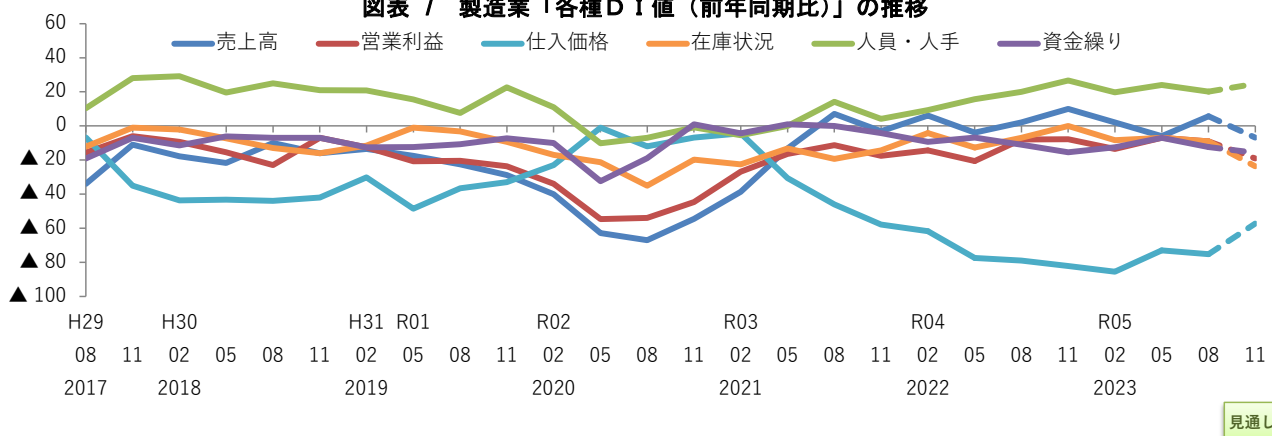
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲8.7（前回調査比 12.0 ポイント下落）と 3 期連続の悪化となり、マイナスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」と「仕入価格」は改善したものの、「売上高」「在庫状況」「資金繰り」は悪化した。「人員・人手」は 3 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントから、土産物販売店や飲食店向けの食品製造業などで、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行の影響による売上増加の動きがみられた。一方で、半導体や電子部品関連では、在庫確保のための先行発注の反動や調達難の一部解消などの影響を受けて、需要の落ち着きがうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲12.2（今回調査比 3.5 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

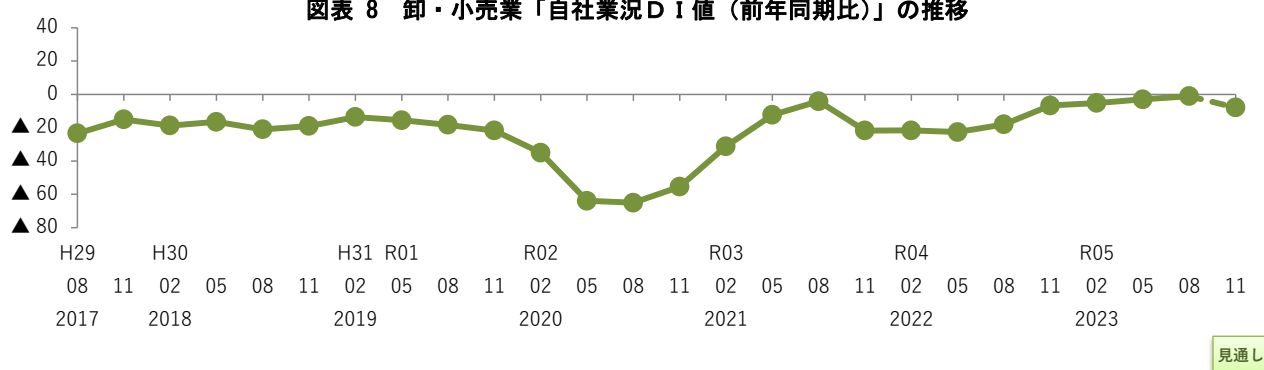
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業 利益	仕入 価格	在庫 状況	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 04. 08 (n=118)	11.0	(▲ 4.8)	▲ 5.9	12.7	▲ 11.0	▲ 94.1	5.1	28.0	▲ 11.0
R 04. 11 (n=117)	12.0	(1.0)	▲ 10.2	24.8	▲ 10.2	▲ 96.6	5.2	36.7	▲ 12.0
R 05. 02 (n=119)	7.5	(▲ 4.5)	▲ 2.6	19.3	▲ 21.8	▲ 91.6	6.7	26.1	▲ 13.4
R 05. 05 (n=121)	3.3	(▲ 4.2)	▲ 18.5	11.6	▲ 14.8	▲ 87.6	6.6	19.1	▲ 11.6
R 05. 08 (n=115)	▲ 8.7	(▲ 12.0)	▲ 8.2	3.5	▲ 13.9	▲ 84.4	0.9	16.6	▲ 21.7
前回調査比	-	-	-	(▲ 8.1)	(0.9)	(3.2)	(▲ 5.7)	(▲ 2.5)	(▲ 10.1)
先行き見通し	▲ 12.2	-	-	▲ 7.0	▲ 23.5	▲ 66.9	▲ 13.9	26.1	▲ 20.9
今回調査比	(▲ 3.5)	-	-	(▲ 10.5)	(▲ 9.6)	(17.5)	(▲ 14.8)	(9.5)	(0.8)

③ 卸・小売業

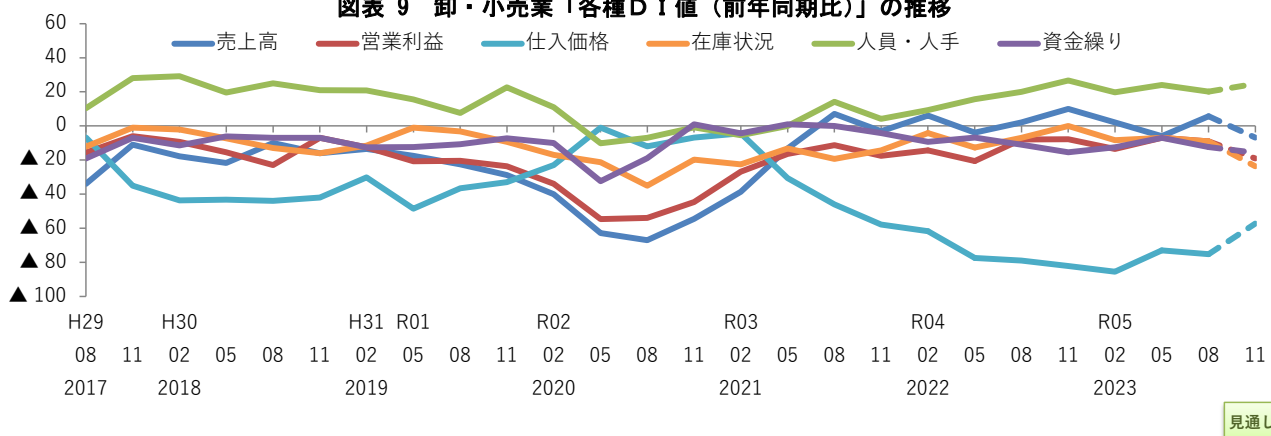
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲1.1（前回調査比 1.9 ポイント上昇）と 5 期連続の改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」は改善し、再びプラスに転じたものの、「営業利益」「仕入価格」「在庫状況」「資金繰り」の 4 項目は悪化となった。「人員・人手」は 2 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントから、酒類卸売業やアパレル販売などでは好調な動きがみられたものの、ガソリンスタンドや家電販売などでは客数の減少や買い控えの影響が見受けられ、業種によってばらつきが出ている状況がうかがえた。また、依然として仕入価格、光熱費の上昇による負担は大きく、経営状況は厳しいとする内容が多く寄せられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲7.9（今回調査比 6.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

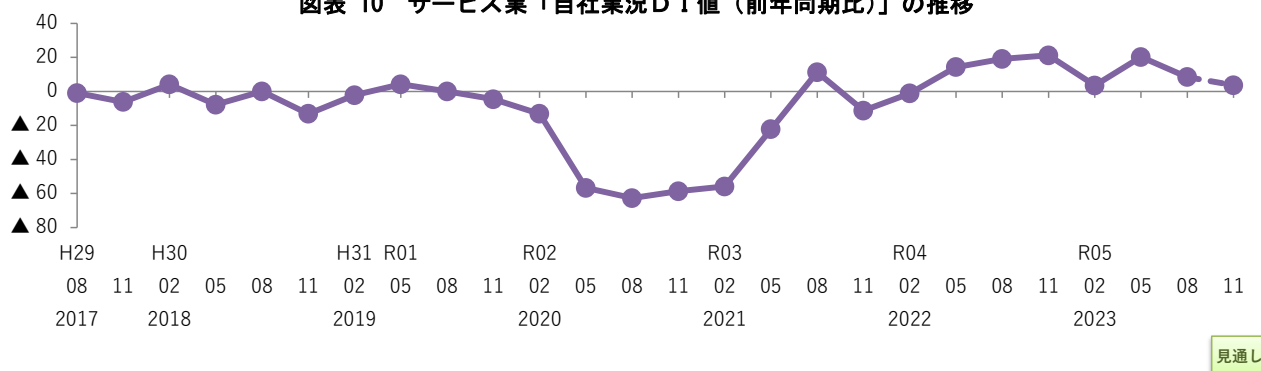
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 04.08 (n=100)	▲ 18.0	(4.6)	▲ 17.7	2.0	▲ 8.0	▲ 79.0	▲ 7.0	20.0	▲ 11.0
R 04.11 (n=90)	▲ 6.7	(11.3)	▲ 20.0	10.0	▲ 7.8	▲ 82.2	0.0	26.6	▲ 15.5
R 05.02 (n=96)	▲ 5.2	(1.5)	▲ 22.3	2.1	▲ 13.5	▲ 85.5	▲ 8.4	19.7	▲ 12.5
R 05.05 (n=100)	▲ 3.0	(2.2)	▲ 20.8	▲ 6.0	▲ 7.0	▲ 73.0	▲ 7.0	24.0	▲ 7.0
R 05.08 (n=89)	▲ 1.1	(1.9)	▲ 1.0	5.7	▲ 9.0	▲ 75.3	▲ 9.0	20.2	▲ 12.4
前回調査比	-	-	-	(11.7)	(▲ 2.0)	(▲ 2.3)	(▲ 2.0)	(▲ 3.8)	(▲ 5.4)
先行き見通し	▲ 7.9	-	-	▲ 6.8	▲ 19.1	▲ 57.3	▲ 23.6	24.7	▲ 15.8
今回調査比	(▲ 6.8)	-	-	(▲ 12.5)	(▲ 10.1)	(18.0)	(▲ 14.6)	(4.5)	(▲ 3.4)

④ サービス業

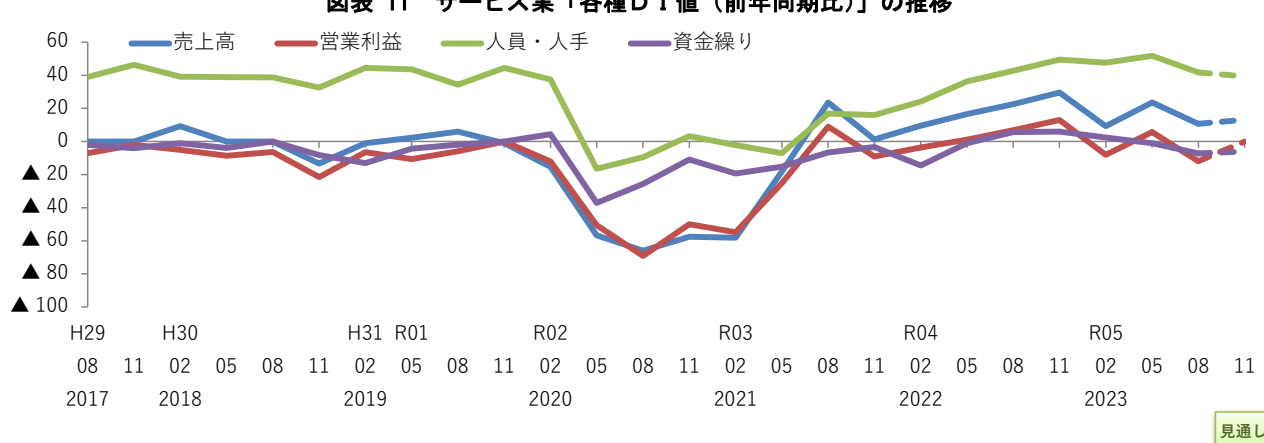
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 8.4（前回調査比 11.8 ポイント下落）と一進一退の動きとなっている。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、すべての項目で悪化となり、「営業利益」はマイナスに転じた。「人員・人手」は 2 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントによると、総じて仕事量、受発注数は増加しており、特に宿泊業や観光業では、全国旅行支援の終了に伴い来客数に一服感はみられるものの、個人客の利用を中心に堅調な動きが続いている。一方で、経費の増加による減益傾向の高まりや、人手不足への対応などの課題が深刻化している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 3.6（今回調査比 4.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 04.08 (n=89)	19.1	(4.8)	7.7	22.5	6.8	42.7	5.6
R 04.11 (n=85)	21.2	(2.1)	▲ 4.5	29.5	12.9	49.4	5.9
R 05.02 (n=86)	3.5	(▲ 17.7)	▲ 7.1	9.3	▲ 8.1	47.6	2.4
R 05.05 (n=89)	20.2	(16.7)	0.0	23.6	5.6	51.7	▲ 1.1
R 05.08 (n=84)	8.4	(▲ 11.8)	6.8	10.7	▲ 11.9	41.7	▲ 7.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 12.9)	(▲ 17.5)	(▲ 10.0)	(▲ 6.1)
先行き見通し	3.6	-	-	13.1	0.0	39.3	▲ 6.0
今回調査比	(▲ 4.8)	-	-	(2.4)	(11.9)	(▲ 2.4)	(1.2)

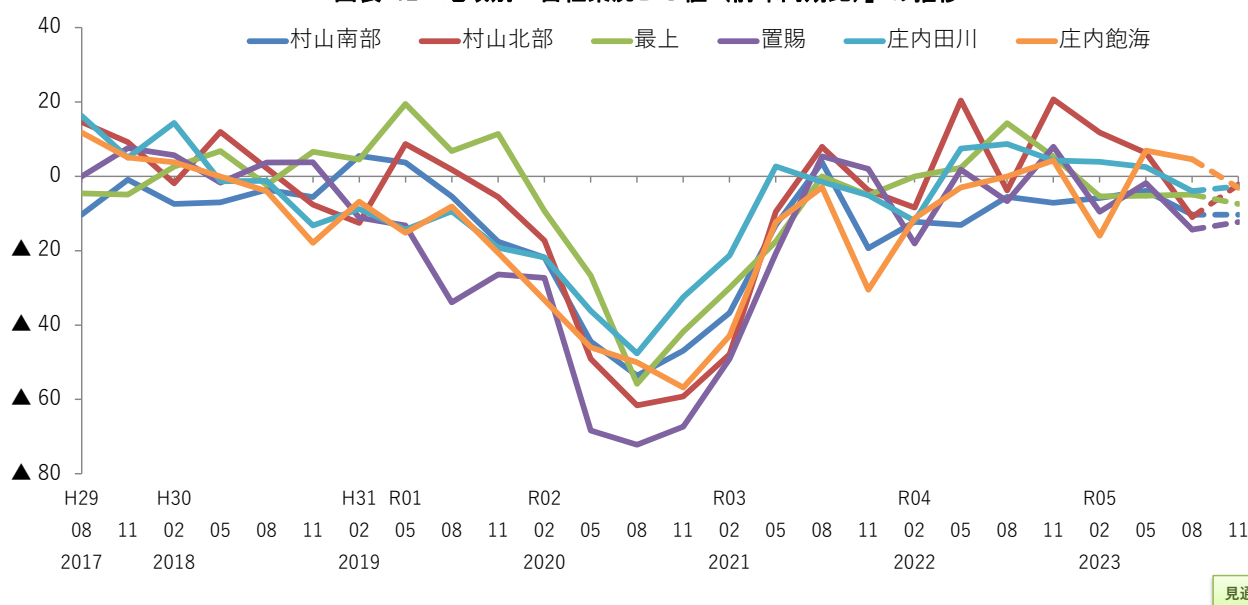
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲10.3（前回調査比 6.4 ポイント下落）、村山北部が▲10.9（前回調査比 17.2 ポイント下落）、最上が▲4.9（前回調査比 0.3 ポイント上昇）、置賜が▲14.3（前回調査比 12.5 ポイント下落）、庄内田川が▲4.0（前回調査比 6.5 ポイント下落）、庄内飽海が▲4.6（前回調査比 2.3 ポイント下落）と、最上はほぼ横ばいの推移、その他の5地域で悪化となり、村山北部と庄内田川でマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、村山北部、置賜、庄内田川は改善、最上と庄内飽海は悪化、村山南部は横ばいで推移する見込みとなっている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 04.08 (n=390)	0.3	▲ 5.5	▲ 3.8	14.3	▲ 6.7	8.7	0.0
R 04.11 (n=379)	4.2	▲ 7.1	20.7	5.3	8.0	4.3	4.3
R 05.02 (n=391)	▲ 3.8	▲ 5.8	11.8	▲ 5.4	▲ 9.5	3.9	▲ 16.0
R 05.05 (n=396)	0.8	▲ 3.9	6.3	▲ 5.2	▲ 1.8	2.5	6.9
R 05.08 (n=373)	▲ 6.4	▲ 10.3	▲ 10.9	▲ 4.9	▲ 14.3	▲ 4.0	4.6
前回調査比	(▲ 7.2)	(▲ 6.4)	(▲ 17.2)	(0.3)	(▲ 12.5)	(▲ 6.5)	(▲ 2.3)
先行き見通し	▲ 6.4	▲ 10.3	▲ 2.2	▲ 7.4	▲ 12.3	▲ 2.7	▲ 3.1
今回調査比	(0.0)	(0.0)	(8.7)	(▲ 2.5)	(2.0)	(1.3)	(▲ 7.7)

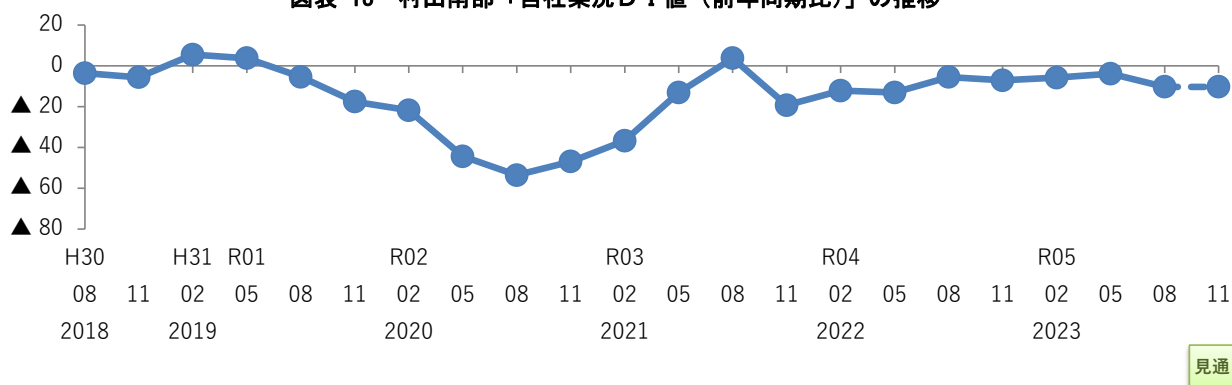
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

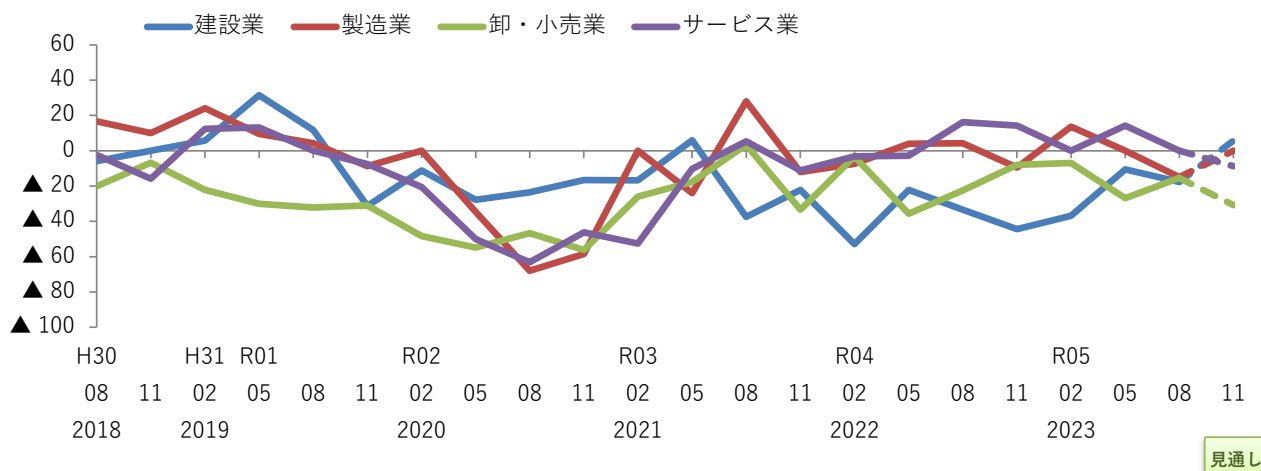
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲10.3（前回調査比 6.4 ポイント下落）と 3 期ぶりの悪化となった。
業種別にみると、卸・小売業は改善となった一方、建設業、製造業、サービス業は悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲10.3（今回調査比±0.0 ポイント）と横ばいで推移する見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

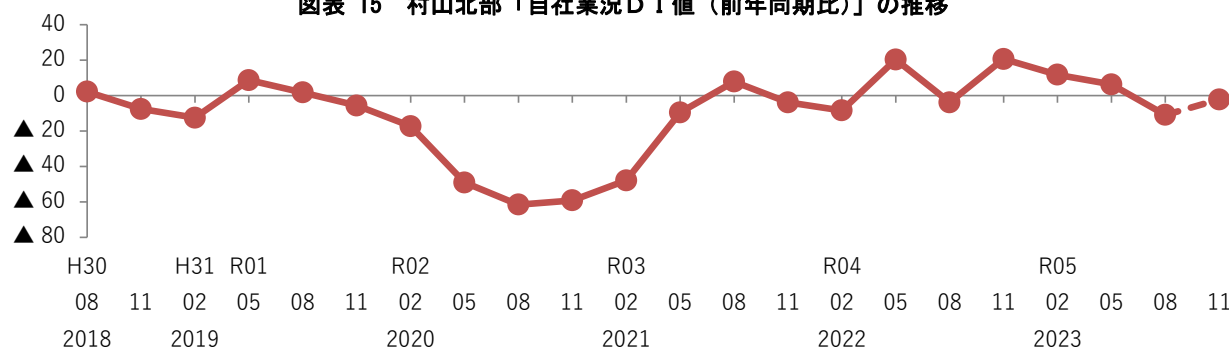
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 08 (n=110)	▲ 5. 5	(7. 6)	▲ 19. 7	▲ 33. 3	4. 2	▲ 22. 5	16. 2
R 04. 11 (n=99)	▲ 7. 1	(▲ 1. 6)	▲ 20. 0	▲ 44. 4	▲ 9. 5	▲ 8. 0	14. 3
R 05. 02 (n=104)	▲ 5. 8	(1. 3)	▲ 20. 2	▲ 36. 9	13. 7	▲ 6. 9	0. 0
R 05. 05 (n=103)	▲ 3. 9	(1. 9)	▲ 21. 1	▲ 10. 5	0. 0	▲ 26. 9	14. 3
R 05. 08 (n=97)	▲ 10. 3	(▲ 6. 4)	▲ 4. 9	▲ 17. 6	▲ 15. 0	▲ 15. 4	0. 0
前回調査比	-	-	-	(▲ 7. 1)	(▲ 15. 0)	(11. 5)	(▲ 14. 3)
先行き見通し	▲ 10. 3	-	-	5. 8	0. 0	▲ 30. 8	▲ 8. 8
今回調査比	(0. 0)	-	-	(23. 4)	(15. 0)	(▲ 15. 4)	(▲ 8. 8)

② 村山北部

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲10.9（前回調査比 17.2 ポイント下落）と 3 期連続の悪化となり、再びマイナスに転じた。業種別にみると、卸・小売業で改善となった一方、建設業、製造業、サービス業で大幅な悪化となった。

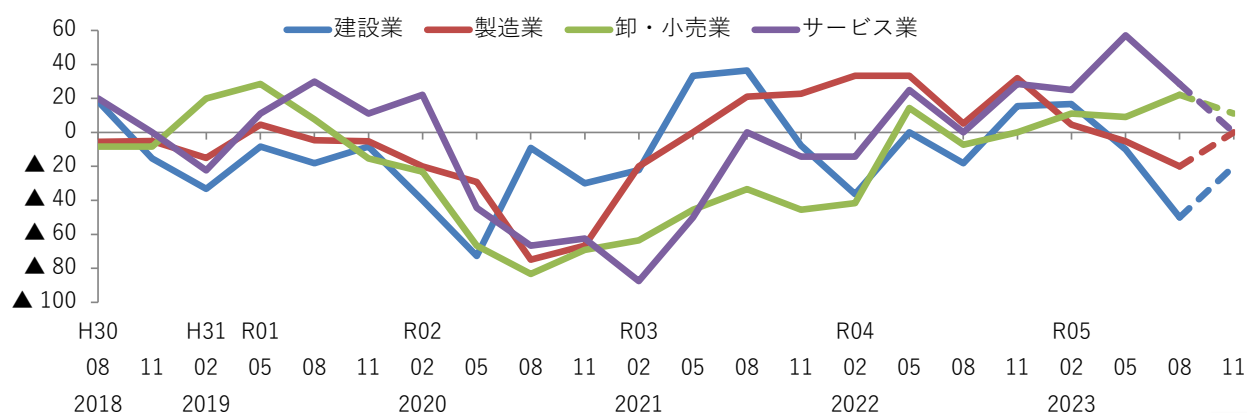
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲2.2（今回調査比 8.7 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

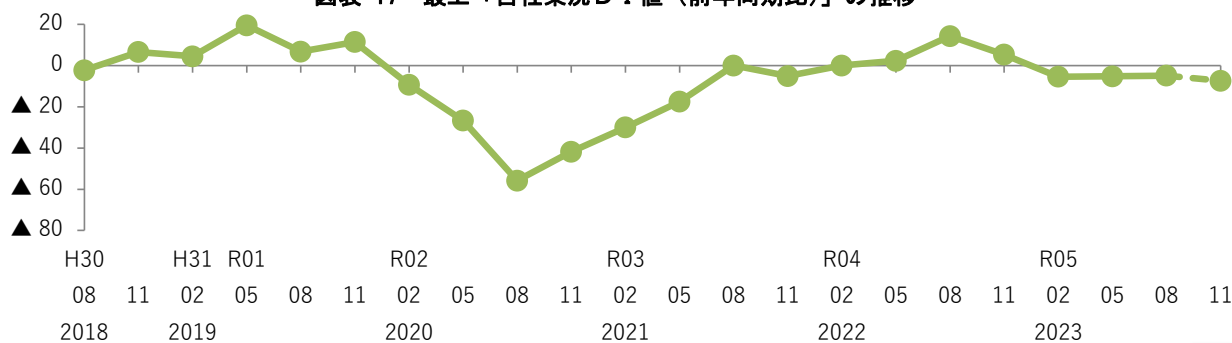
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 08 (n=53)	▲ 3. 8	(▲ 24. 2)	11. 1	▲ 18. 2	5. 2	▲ 7. 2	0. 0
R 04. 11 (n=53)	20. 7	(24. 5)	▲ 11. 4	15. 4	31. 9	0. 0	28. 5
R 05. 02 (n=51)	11. 8	(▲ 8. 9)	▲ 9. 4	16. 7	4. 5	11. 1	25. 0
R 05. 05 (n=47)	6. 3	(▲ 5. 5)	▲ 9. 8	▲ 10. 0	▲ 5. 2	9. 1	57. 1
R 05. 08 (n=46)	▲ 10. 9	(▲ 17. 2)	▲ 6. 4	▲ 50. 0	▲ 20. 0	22. 2	28. 6
前回調査比	-	-	-	(▲ 40. 0)	(▲ 14. 8)	(13. 1)	(▲ 28. 5)
先行き見通し	▲ 2. 2	-	-	▲ 20. 0	0. 0	11. 1	0. 0
今回調査比	(8. 7)	-	-	(30. 0)	(20. 0)	(▲ 11. 1)	(▲ 28. 6)

③ 最 上

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲4.9（前回調査比 0.3 ポイント上昇）とほぼ横ばいの推移となった。業種別にみると、製造業は横ばいの推移、建設業は大幅な改善、卸・小売業とサービス業は大幅な悪化となった。

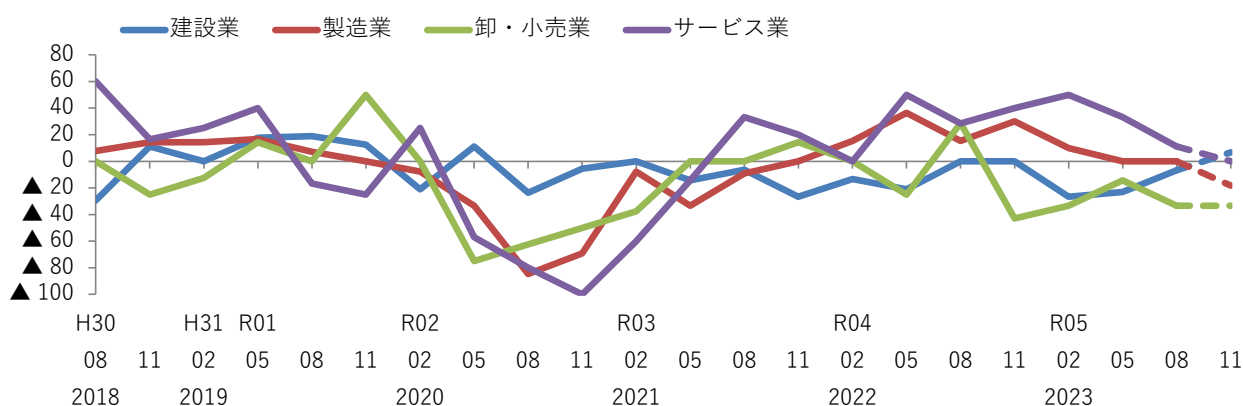
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲7.4（今回調査比 2.5 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

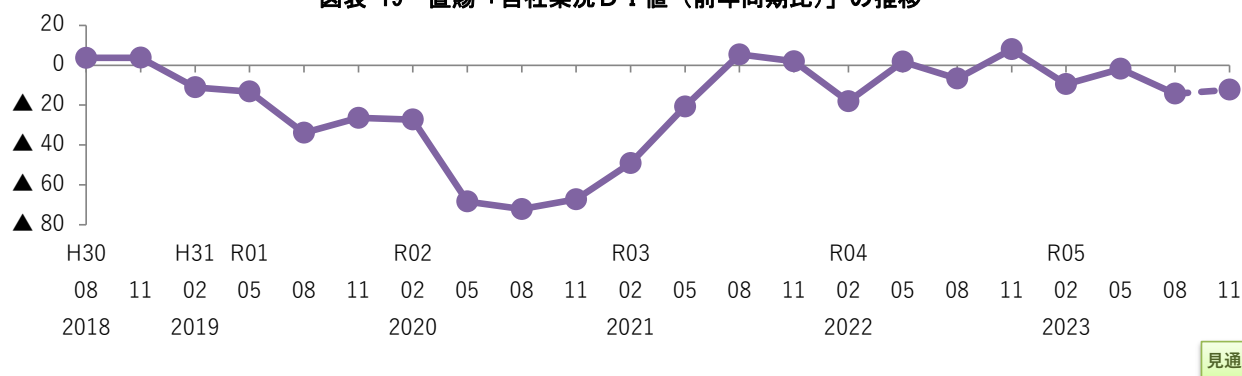
最 上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 04. 08 (n=42)	14. 3	(12. 0)	▲ 6. 8	0. 0	15. 4	28. 6	28. 5
R 04. 11 (n=38)	5. 3	(▲ 9. 0)	▲ 7. 2	0. 0	30. 0	▲ 42. 9	40. 0
R 05. 02 (n=37)	▲ 5. 4	(▲ 10. 7)	▲ 23. 6	▲ 26. 7	10. 0	▲ 33. 3	50. 0
R 05. 05 (n=39)	▲ 5. 2	(0. 2)	▲ 27. 0	▲ 23. 1	0. 0	▲ 14. 3	33. 3
R 05. 08 (n=41)	▲ 4. 9	(0. 3)	▲ 15. 4	▲ 6. 7	0. 0	▲ 33. 3	11. 1
前回調査比	-	-	-	(16. 4)	(0. 0)	(▲ 19. 0)	(▲ 22. 2)
先行き見通し	▲ 7. 4	-	-	6. 7	▲ 18. 2	▲ 33. 3	0. 0
今回調査比	(▲ 2. 5)	-	-	(13. 4)	(▲ 18. 2)	(0. 0)	(▲ 11. 1)

④ 置 賜

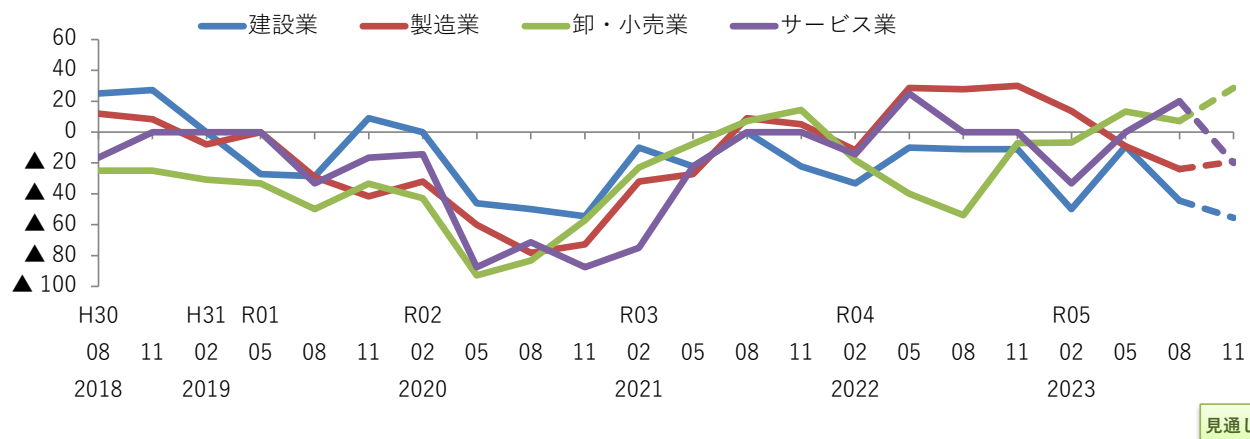
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲14.3（前回調査比 12.5 ポイント下落）と前期の好転から再び後退する動きとなった。業種別にみると、サービス業で改善となった一方、建設業、製造業、卸・小売業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲12.3（今回調査比 2.0 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

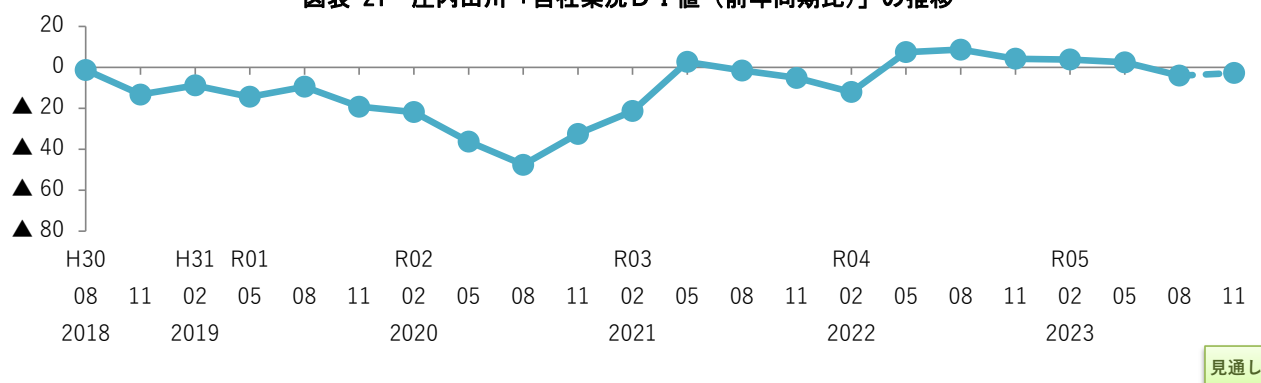
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 04.08 (n=45)	▲ 6.7	(▲ 8.5)	▲ 25.9	▲ 11.1	27.8	▲ 53.8	0.0
R 04.11 (n=50)	8.0	(14.7)	▲ 13.3	▲ 11.1	30.0	▲ 7.2	0.0
R 05.02 (n=53)	▲ 9.5	(▲ 17.5)	▲ 12.0	▲ 50.0	13.6	▲ 6.7	▲ 33.3
R 05.05 (n=54)	▲ 1.8	(7.7)	▲ 26.4	▲ 9.1	▲ 9.1	13.3	0.0
R 05.08 (n=49)	▲ 14.3	(▲ 12.5)	1.8	▲ 44.5	▲ 23.9	7.2	20.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 35.4)	(▲ 14.8)	(▲ 6.1)	(20.0)
先行き見通し	▲ 12.3	-	-	▲ 55.6	▲ 19.1	28.6	▲ 20.0
今回調査比	(2.0)	-	-	(▲ 11.1)	(4.8)	(21.4)	(▲ 40.0)

⑤ 庄内田川

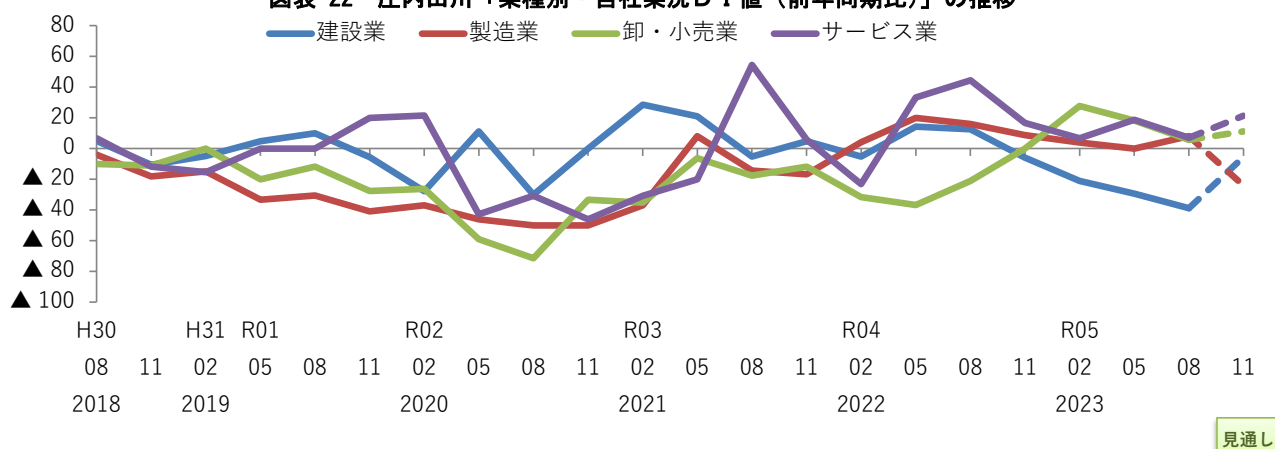
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲4.0（前回調査比 6.5 ポイント下落）と 4 期連続で悪化となり、マイナスに転じた。業種別にみると、製造業で改善となった一方、建設業、卸・小売業、サービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲2.7（今回調査比 1.3 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



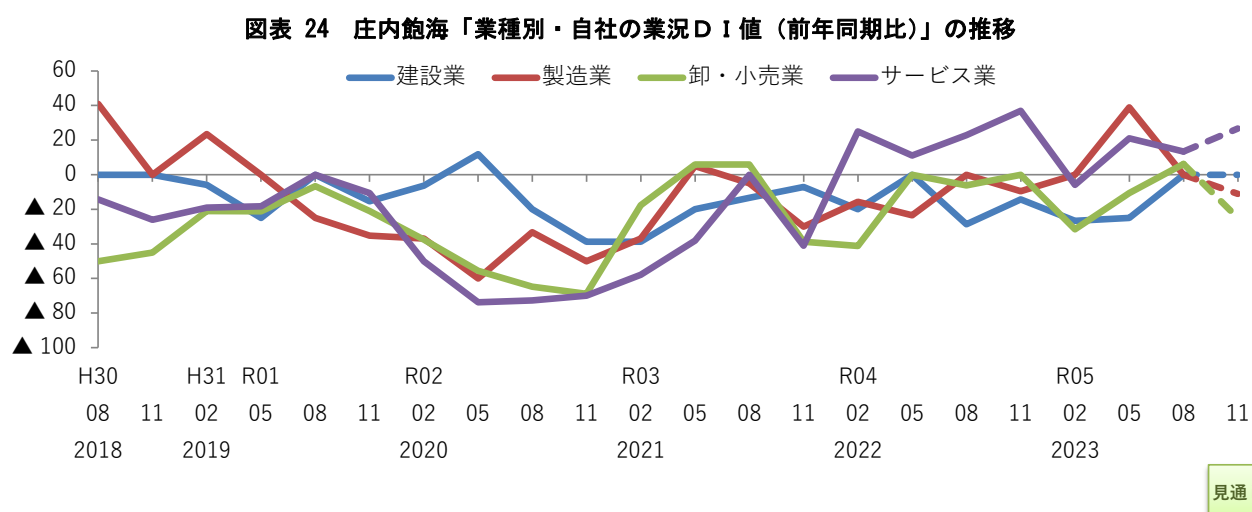
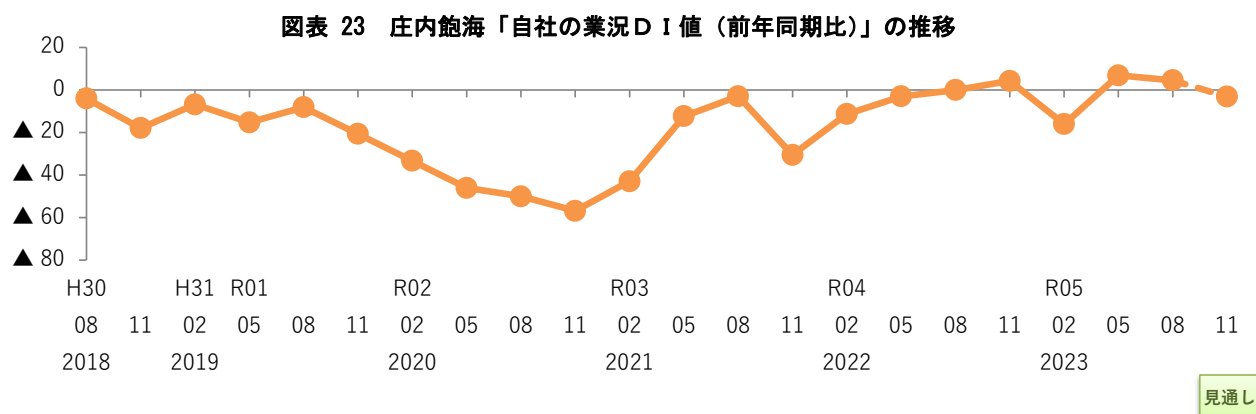
前年同期比の自社業況 D I 値

庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 08 (n=69)	8.7	(1.2)	0.0	12.5	16.0	▲ 21.0	44.5
R 04. 11 (n=70)	4.3	(▲ 4.4)	▲ 11.6	▲ 5.9	8.7	0.0	16.7
R 05. 02 (n=77)	3.9	(▲ 0.4)	▲ 2.8	▲ 21.1	4.0	27.7	6.7
R 05. 05 (n=81)	2.5	(▲ 1.4)	▲ 13.0	▲ 29.4	0.0	18.2	18.7
R 05. 08 (n=75)	▲ 4.0	(▲ 6.5)	▲ 6.2	▲ 38.8	8.0	5.6	7.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 9.4)	(8.0)	(▲ 12.6)	(▲ 11.6)
先行き見通し	▲ 2.7	-	-	▲ 5.5	▲ 24.0	11.1	21.4
今回調査比	(1.3)	-	-	(33.3)	(▲ 32.0)	(5.5)	(14.3)

⑥ 庄内飽海

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 4.6（前回調査比 2.3 ポイント下落）と前期の好転から再び後退する動きとなった。業種別にみると、建設業と卸・小売業で改善となった一方、製造業とサービス業で悪化となり、卸・小売業で D I 値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲3.1（今回調査比 7.7 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 08 (n=71)	0.0	(3.0)	▲ 16.4	▲ 28.6	0.0	▲ 6.2	22.8
R 04. 11 (n=69)	4.3	(4.3)	▲ 14.1	▲ 14.3	▲ 9.5	0.0	36.9
R 05. 02 (n=69)	▲ 16.0	(▲ 20.3)	▲ 16.0	▲ 26.7	0.0	▲ 31.6	▲ 5.9
R 05. 05 (n=72)	6.9	(22.9)	▲ 20.3	▲ 25.0	38.9	▲ 10.6	21.0
R 05. 08 (n=65)	4.6	(▲ 2.3)	▲ 13.9	0.0	0.0	6.2	13.4
前回調査比	-	-	-	(25.0)	(▲ 38.9)	(16.8)	(▲ 7.6)
先行き見通し	▲ 3.1	-	-	0.0	▲ 11.1	▲ 25.0	26.7
今回調査比	(▲ 7.7)	-	-	(0.0)	(▲ 11.1)	(▲ 31.2)	(13.3)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山 形 県

今期の業況 → 来期の見通し

庄内飽海

→

最 上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置 賜

→

村山南部

→

今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

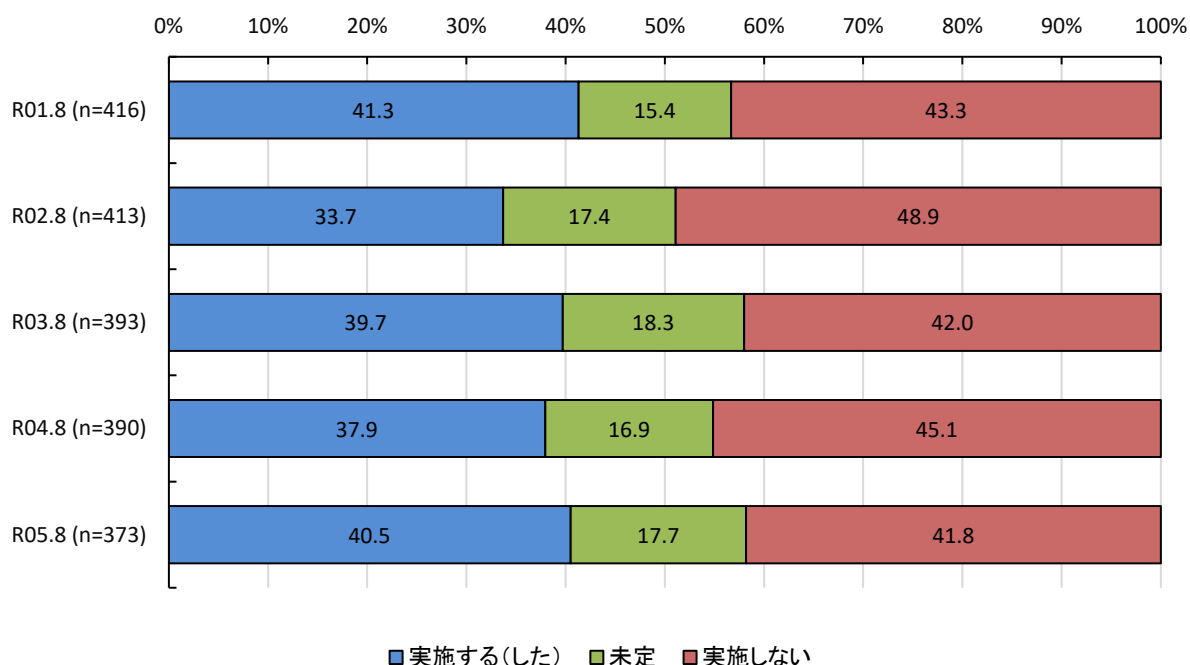
III. 特別調査

1. 設備投資動向について

(1) 設備投資動向

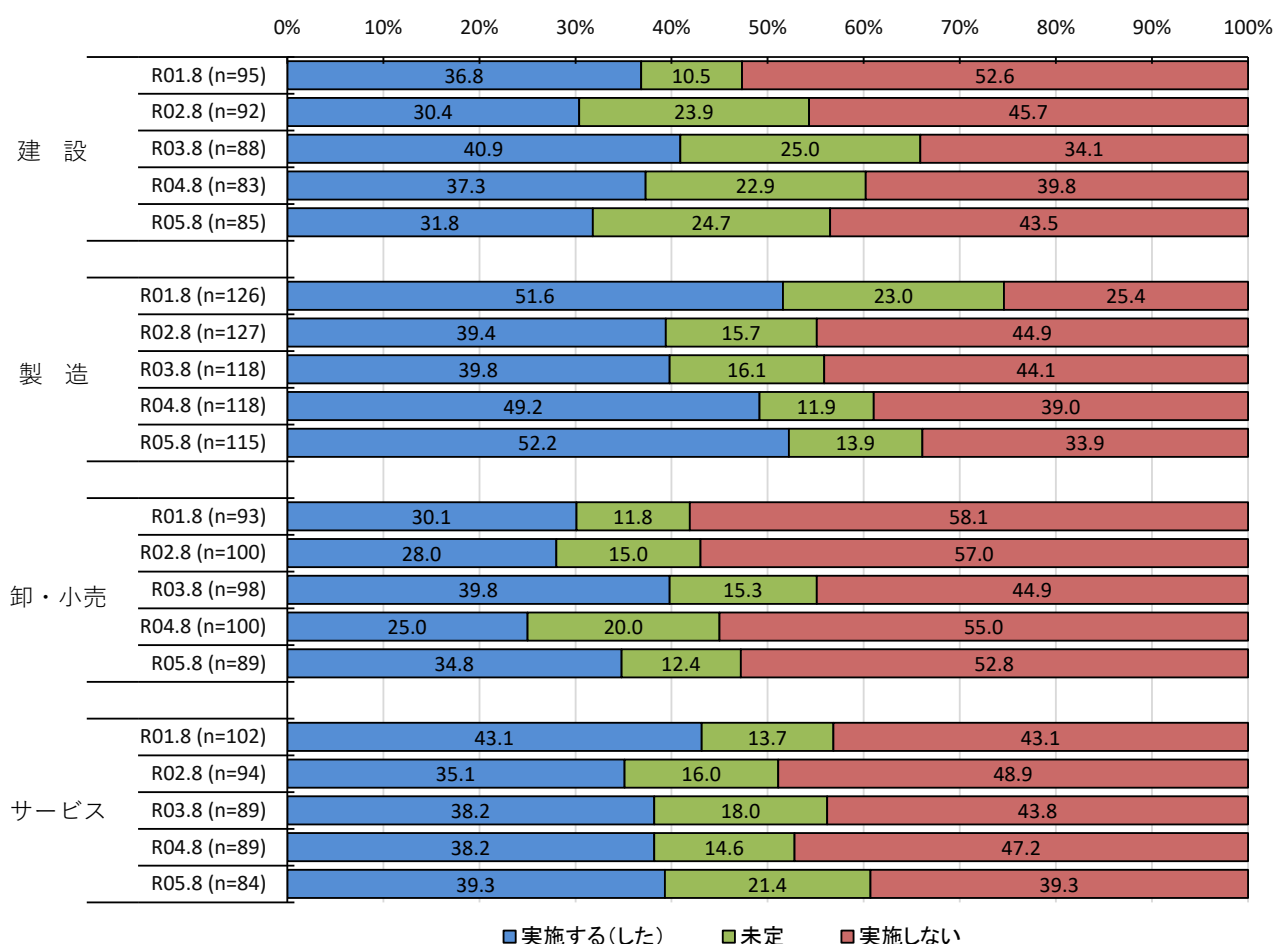
令和 5 年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は 40.5%と、前年度に比べ 2.6 ポイントの上昇となった。一方、「実施しない」は 41.8%と 3.3 ポイントの低下となった。

図表 25 「設備投資動向」の推移



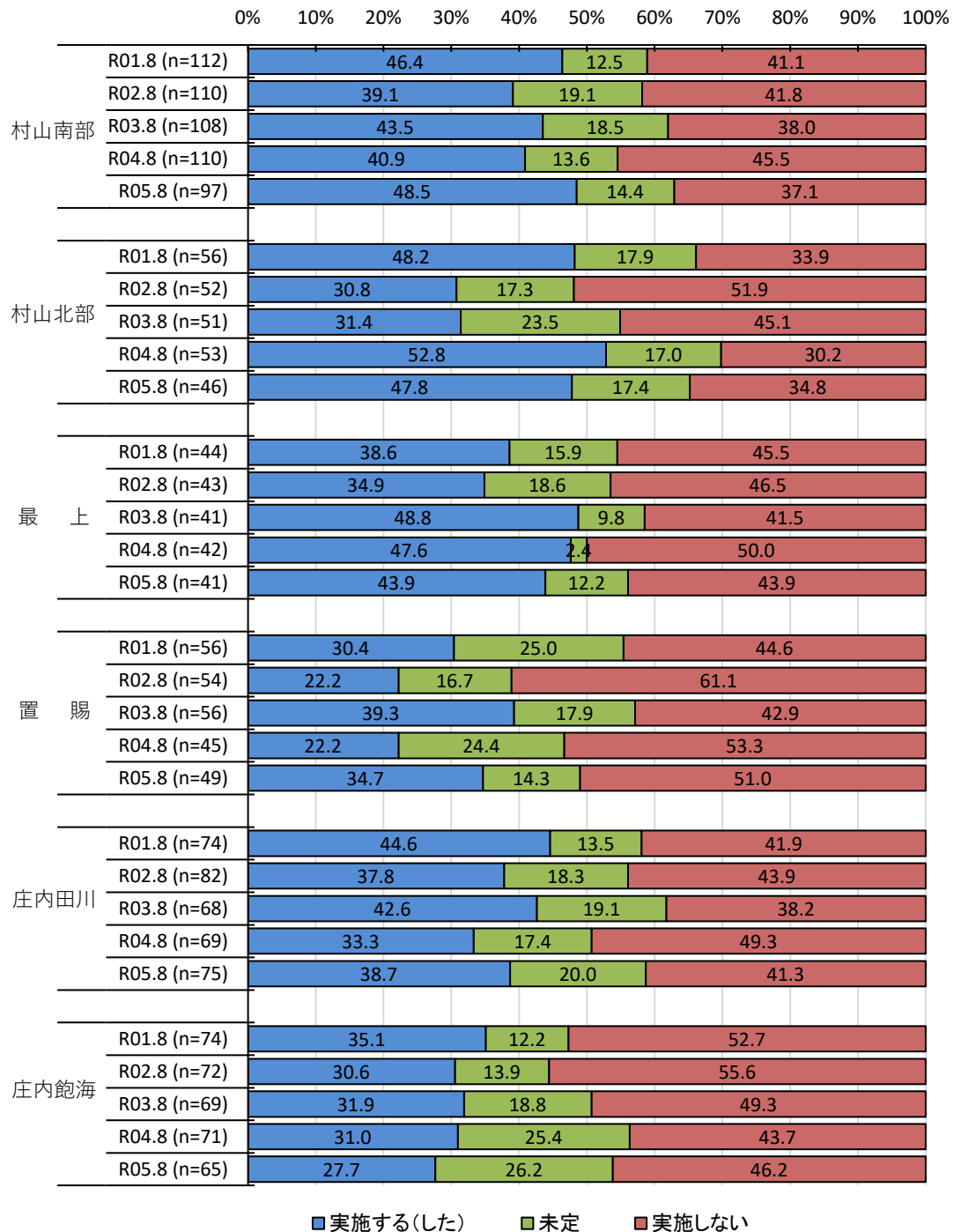
業種別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、建設業が 31.8%（前年度比 5.5 ポイント低下）、製造業が 52.2%（前年度比 3.0 ポイント上昇）、卸・小売業が 34.8%（前年度比 9.8 ポイント上昇）、サービス業が 39.3%（前年度比 1.1 ポイント上昇）と、建設業で低下、製造業、卸・小売業、サービス業で上昇となった。

図表 26 業種別 「設備投資動向」の推移



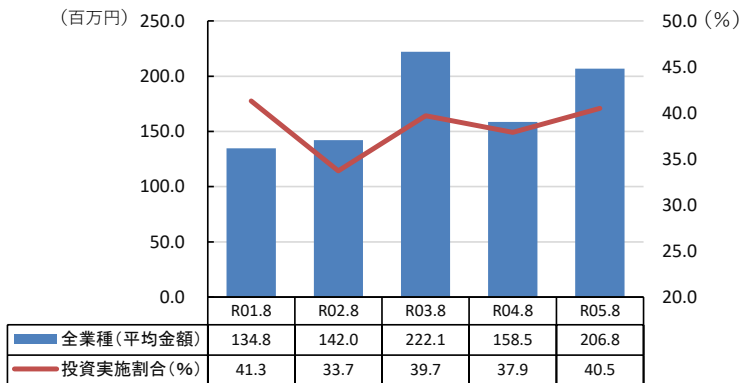
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は 48.5%（前年度比 7.6 ポイント上昇）、村山北部は 47.8%（前年度比 5.0 ポイント低下）、最上は 43.9%（前年度比 3.7 ポイント低下）、置賜は 34.7%（前年度比 12.5 ポイント上昇）、庄内田川は 38.7%（前年度比 5.4 ポイント上昇）、庄内飽海は 27.7%（前年度比 3.3 ポイント低下）となり、村山南部、置賜、庄内田川で上昇となった一方、村山北部、最上、庄内飽海で低下となった。

図表 27 地域別 「設備投資動向」の推移



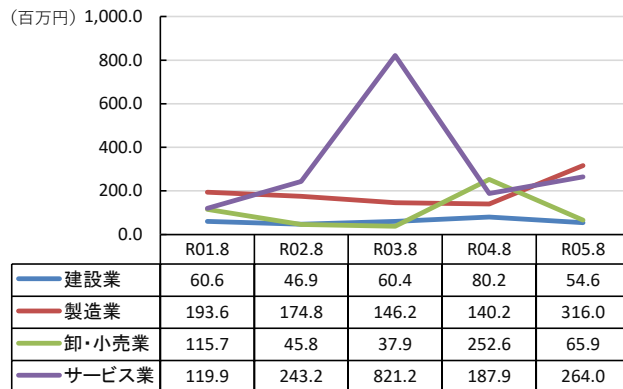
(2) 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



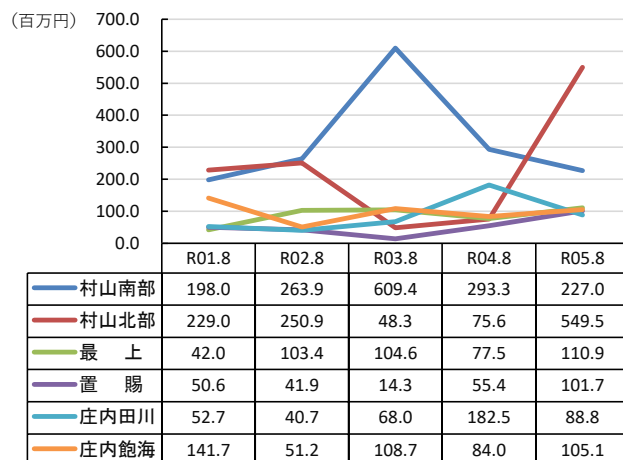
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額(予定含む)は2億680万円で、前年度より4,830万円増加した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が5,460万円(前年度比2,560万円減少)、製造業が3億1,600万円(前年度比1億7,580万円増加)、卸・小売業が6,590万円(前年度比1億8,670万円減少)、サービス業が2億6,400万円(前年度比7,610万円増加)となり、建設業と卸・小売業で減少、製造業とサービス業で増加となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移

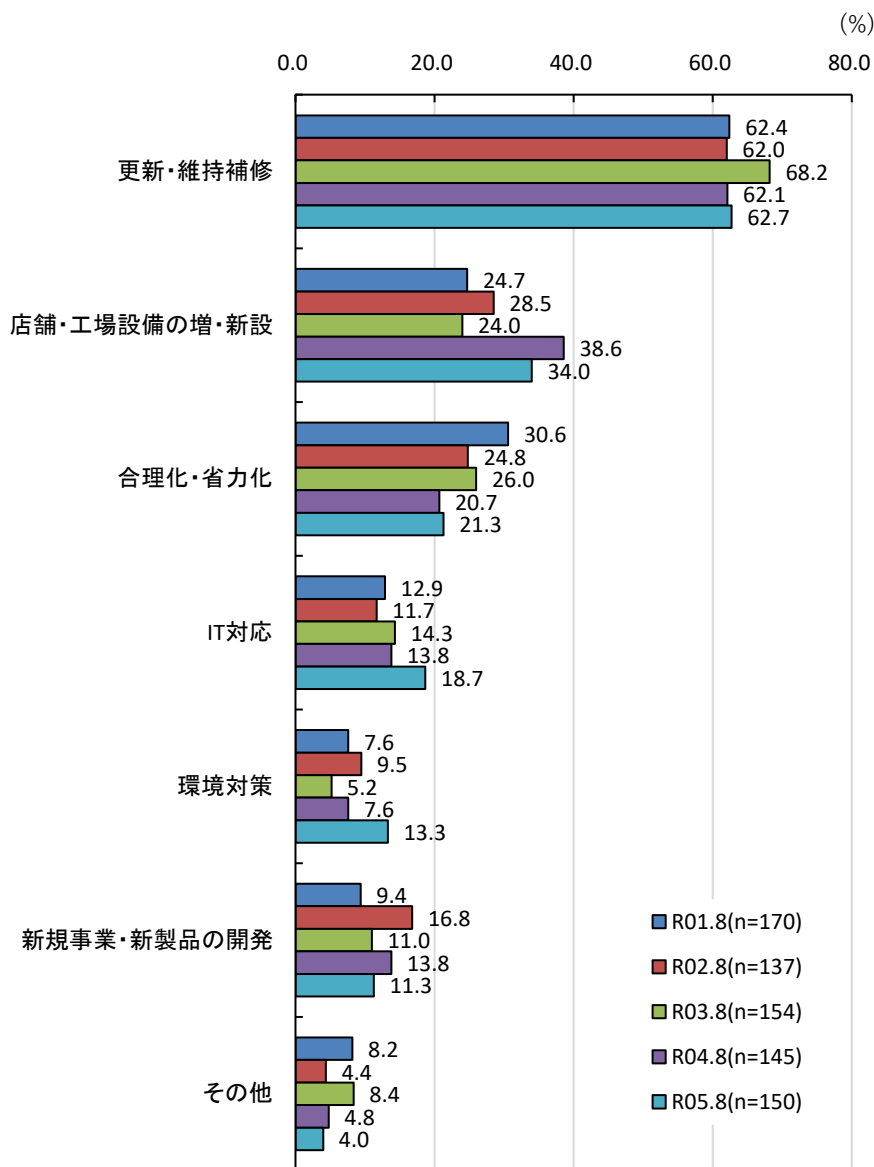


地域別にみると、村山南部が2億2,700万円(前年度比6,630万円減少)、村山北部が5億4,950万円(前年度比4億7,390万円増加)、最上が1億1,090万円(前年度比3,340万円増加)、置賜が1億170万円(前年度比4,630万円増加)、庄内田川が8,880万円(前年度比9,370万円減少)、庄内飽海が1億5,510万円(前年度比2,110万円増加)となり、村山北部、最上、置賜、庄内飽海で増加、村山南部、庄内田川で減少となった。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持補修」と回答した企業の割合が 62.7%と最も高くなった。次いで、「店舗・工場設備の増・新設」が 34.0%、「合理化・省力化」が 21.3%、「IT 対応」が 18.7%と続いた。

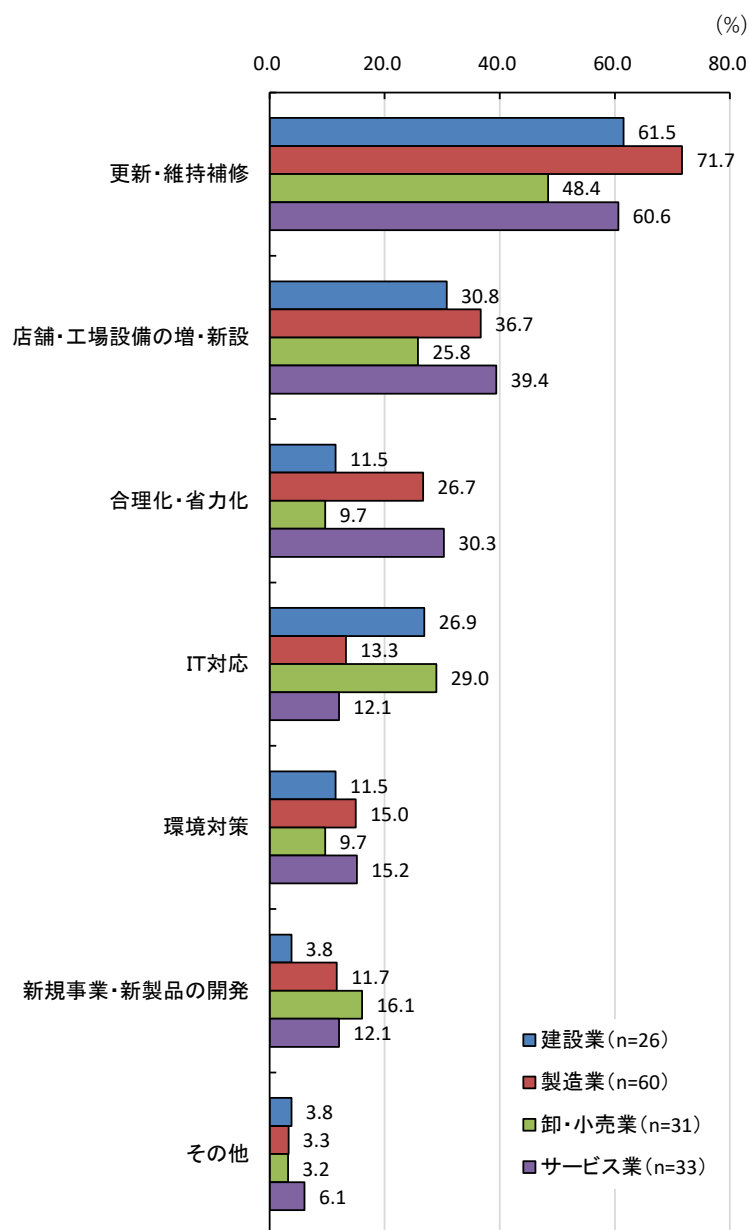
図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



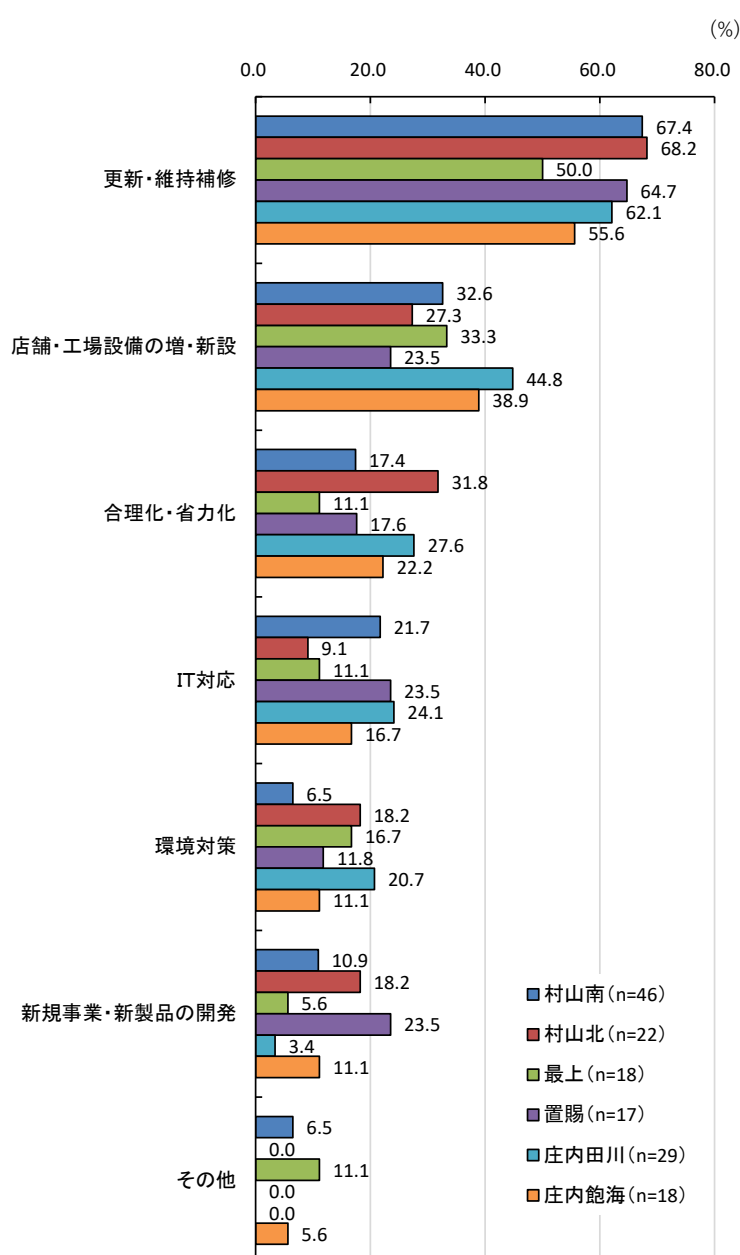
業種別に投資目的をみると、すべての業種で、「更新・維持補修」が最も高い割合となった。卸・小売業では「IT 対応」が第 2 位となっているが、その他の 3 業種では「店舗・工場設備の増・新設」が第 2 位となっている。

地域別にみると、すべての地域で「更新・維持補修」が最も高い割合となった。次いで、村山北部では「合理化・省力化」が第 2 位となっているものの、その他の 5 地域では「店舗・工場設備の増・新設」が第 2 位（置賜は同率 2 位に「IT 対応」「新規事業・新製品の開発」）となっており、第 3 位以下は地域によってばらつきがみられる。

図表 32 業種別「設備投資の目的」（複数回答）



図表 33 地域別「設備投資の目的」（複数回答）



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	22	33	42	51	148
村山北部	20	30	17	16	83
最 上	21	18	9	17	65
置 賜	23	27	25	12	87
庄内田川	29	37	28	28	122
庄内飽海	32	32	31	36	131
合 計	147	177	152	160	636

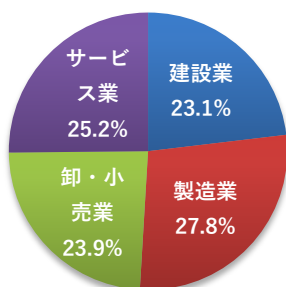
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	17	20	26	34	97
村山北部	10	20	9	7	46
最 上	15	11	6	9	41
置 賜	9	21	14	5	49
庄内田川	18	25	18	14	75
庄内飽海	16	18	16	15	65
合 計	85	115	89	84	373

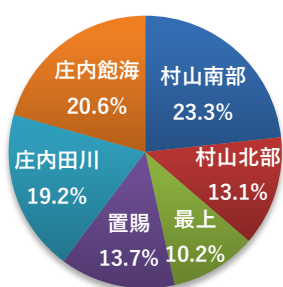
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	77.3	60.6	61.9	66.7	65.5
村山北部	50.0	66.7	52.9	43.8	55.4
最 上	71.4	61.1	66.7	52.9	63.1
置 賜	39.1	77.8	56.0	41.7	56.3
庄内田川	62.1	67.6	64.3	50.0	61.5
庄内飽海	50.0	56.3	51.6	41.7	49.6
合 計	57.8	65.0	58.6	52.5	58.6

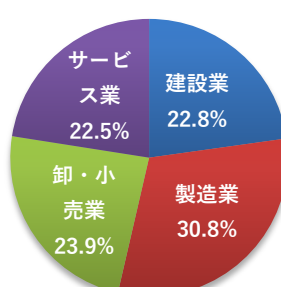
サンプル割合（業種別）



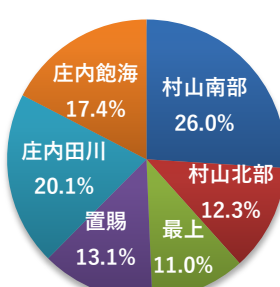
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 5 年 8 月 1 日(月)～17 日(木)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : <https://www.fir.co.jp/>